

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

術前化学療法を施行した乳癌根治手術症例における予後因子としての好中球リンパ球比(NLR)の有用性の検討

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 乳腺内分泌外科 (研究責任者)榎本 克久

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2021年 2月 1日

<研究の目的と意義>

術前化学療法後乳癌手術を施行した症例を探索的観察研究し、術前化学療法投与前、投与後1週間以内の抹消血液中の好中球数、リンパ球数、好中球リンパ球比を探索し予後を検討します。

<利用する試料・情報の項目>

研究対象者基本情報:年齢、性別、術前データ、予後、治療内容など
乳癌手術時の病理所見、乳癌術後の生存期間及び治療方法などを検討します。

<対象となる患者さん>

西暦 2006年 1月 1日～西暦 2019年 12月 31日の期間に当院乳腺内分泌外科で術前化学療法後乳癌手術の治療を開始された方が対象となります。

<研究の方法>

西暦 2006年 1月 1日～西暦 2019年 12月 31日の期間に当科で術前化学療法後乳癌手術を施行した 116例を対象とします。年齢、主訴、並存疾患、腫瘍径、腋窩リンパ節転移などの背景因子を検討し、組織型、ホルモン感受性、合併症も検討項目とします。また、治療成績を検討し、生存率で有意を検討します。これらの比較検討項目を解析することで、術前化学療法後乳癌根治切除手術症例の有効な予後予測因子を見出す予定であります。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

乳腺内分泌外科

氏名:榎本 克久

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2451 (PHS)8153